

世界遺産「三池炭鉱・三池港」の歩き方(一例)

「明治日本の産業革命遺産」を構成する「三池炭鉱・三池港」を見に来たけれど、どの順番で見学したらいいかな??? こんな問合せが寄せられます。そこで一例ですが、世界遺産「三池炭鉱・三池港」の見学のしかたを紹介いたします。(あくまでも一例です。見学の目的、余裕時間、移動手段などにより見学方法は変わります。)

1. 三池炭鉱について学ぼう

大牟田市石炭産業科学館
(三池炭鉱・三池港のガイドンス施設)

まずは石炭産業科学館を訪れてはいかがでしょうか？

三池炭鉱・三池港のガイドンス施設として世界遺産コーナーを設置しています。

また、三池炭鉱は世界遺産となった施設だけでなく、三川坑や旧三井港倶楽部、宮浦坑など多くの施設が残されています。

世界遺産はもちろん、採炭に関する技術や歴史、施設の特徴など三池炭鉱全体のことが分かります。



2. 各施設を見に行こう

世界遺産施設: 宮原坑、万田坑、三池炭鉱専用鉄道敷跡、三池港
世界遺産ではないけれど: 三川坑跡、旧三井港倶楽部、宮浦石炭記念公園など

【各施設の特徴】 詳しくは当ホームページ「大牟田の近代化産業遺産の概要」へ

宮原坑

万田坑

三池炭鉱専用鉄道敷跡

三池港



三池炭鉱が民営化されて初めて開削された炭鉱。明治・大正期の採炭方法が分かる。現存する我が国最古の鋼製のやぐらが残り、囚人労働の歴史がある。

宮原坑に続き開削。三井が総力を上げ、当時の炭鉱業界の模範となる施設を建設。明治時代の炭鉱施設としては最大規模。当時の機械類も数多く残っている。

宮原坑や万田坑などの各坑口と三池港をつないだ鉄道敷跡。レールは撤去されているが枕木が残る。宮原坑で見学できる。

石炭積出のために三井が造った港。遠浅の有明海でも大型船が航行できるよう閘門機能を有する。旧長崎税関三池税関支署も残る。

三川坑跡

旧三井港倶楽部

宮浦石炭記念公園



三池炭鉱の主力坑。昭和天皇ご入坑、労働争議、炭じん爆発など様々な歴史を持つ。

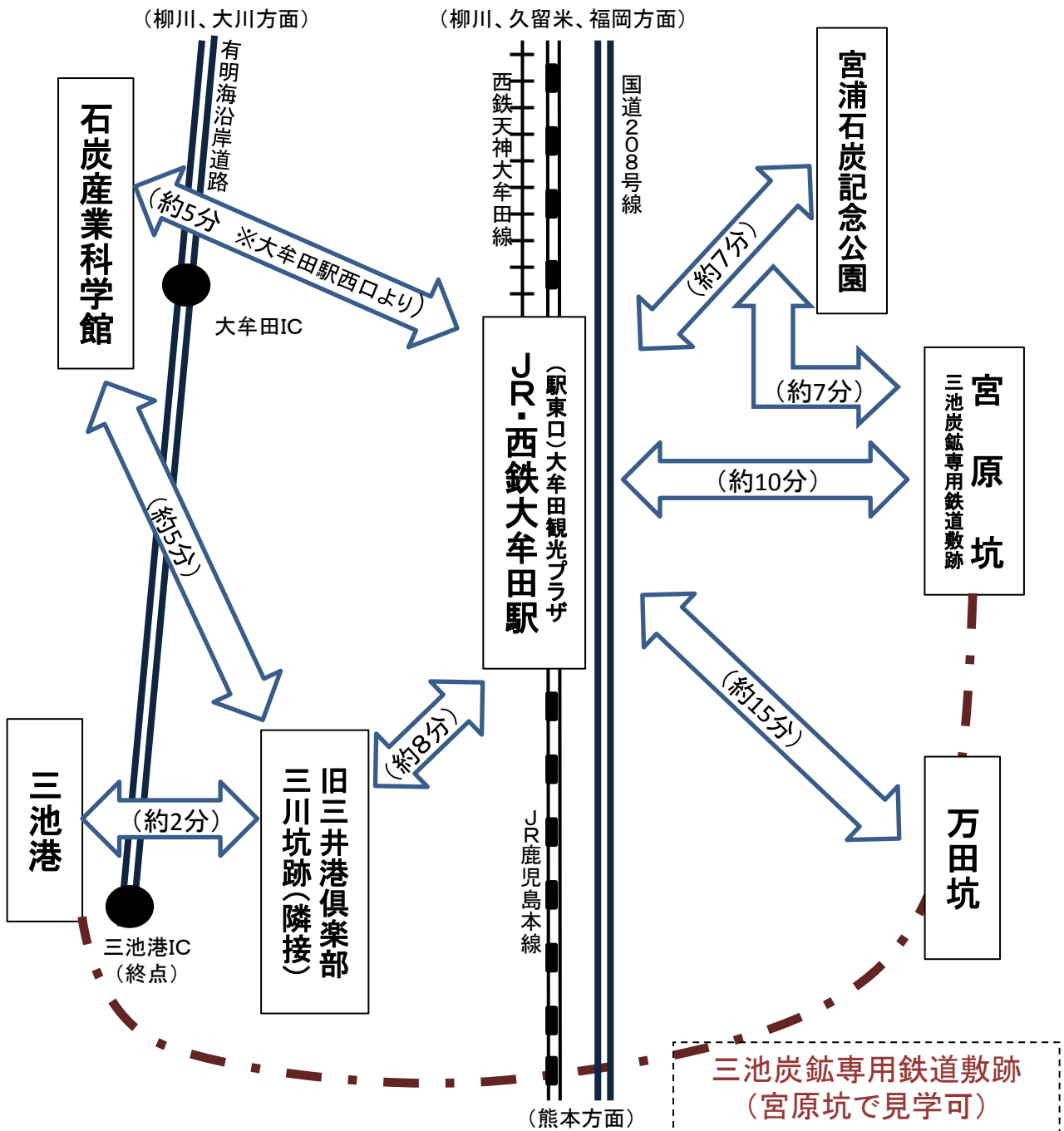
三池港築港と同時に建設。当時の華やかな時代がうかがえる。食事も可能。

宮浦坑跡を公園化。当時の煙突が残り、石炭発祥の工業地帯が一望できる。



車での所要時間(目安)

JR・西鉄大牟田駅を基点に、各施設への車での所要時間(目安)です。見学の計画を立てられる際の参考として下さい。



※宮原坑⇄万田坑間は、住宅地内を通り迷いやすいため、国道208号線を利用されることをお勧めします。

※地図を用いた詳しいマップは、こちらにアクセスして下さい。⇒[ガイドマップ](#)

三池炭鉱関連施設見学モデルルート(例)

JR・西鉄大牟田駅を基点に、各施設への車での所要時間(目安)です。見学の計画を立てられる際の参考として下さい。

<モデル1>世界遺産丸ごと周遊ルート

世界遺産となった宮原坑・三池炭鉱専用鉄道敷跡、万田坑、三池港を効率的に見るためのルート。施設が出来た順に、石炭が坑口で掘られ、鉄道で運ばれ、港から積み出された順に見学できます。

1. 石炭産業科学館(見学時間:約1時間※ビデオ視聴を含む。)

↓ (約15分)

2. 宮原坑・三池炭鉱専用鉄道敷跡(見学時間:30~40分)

↓ (約25分)

3. 万田坑(見学時間:約1時間)

↓ (約25分)

4. 三池港(三池港展望所・旧長崎税関三池税関支署)(見学時間:約30分)

三池港近くに、三川坑、旧三井港倶楽部(食事可)、サンデン本社屋などがあります。

<モデル2>欲張り世界遺産・近代化産業遺産ルート

せっかく来たなら、多くの近代化遺産を見たい、歴史や価値を味わいたい。世界遺産だけでなく、明治、大正、昭和を支えた石炭関連の施設群を味わえます。

1. 石炭産業科学館

↓ (約7分)

2. 三池港(三池港展望所・旧長崎税関三池税関支署)

↓ (約2分)

3. 三川坑跡

戦後復興を支えた近代炭鉱。ここから有明海の地底へつながる坑口が見れます。昭和天皇ご入坑、三池争議、炭じん爆発などの舞台。土日祝日の10~17時公開(ガイド駐在)。

↓ (隣接)

4. 旧三井港倶楽部

三池港と同じ明治41年に建築。要人や外国航路船長などをもてなした洋館。現在はレストラン、結婚式場として活用(食事可)。

↓ (約15分)

5. 宮浦石炭記念公園

官営次代つくれた最後の坑口(宮浦坑)。三池炭鉱では最長の70年以上出炭。ここから、東洋の摩天楼といわれた、日本初の石炭化学コンビナートが見れます。

↓ (約7分)

6. 宮原坑・三池炭鉱専用鉄道敷跡

※三池港、三川坑、旧三井港倶楽部は近接しています。どの施設から見学されても時間的にはあまり変わりません。

大牟田駅東口に**大牟田観光プラザ**があります。観光スポット、特産品、食事の相談も可能です。お気軽におたずね下さい。
大牟田観光協会:大牟田市不知火町1丁目144-4(大牟田観光プラザ内) 電話:0944-52-2212